

令和6年度第1回公共調達監視委員会審議概要

佐賀労働局

1 開催日時

令和6年10月2日（水） 14:00～15:50

2 開催場所

佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎3階共用大会議室2

3 公共調達監視委員

委員長 児玉 弘（福岡大学法科大学院准教授）

委員 椿原 剛（弁護士）

委員 杉野 直志（税理士）

4 審査対象期間

令和6年1月1日～令和6年6月30日

5 審査件数

(1) 公共工事	0件
(内訳) 競争入札	0件
随意契約	0件
(2) 物品役務等	8件
(内訳) 競争入札	4件
随意契約	4件

6 議事録

【審議番号1：就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援】

(委員) 本件は総合評価だが、技術点の評価基準は全国統一か。

(担当) 評価基準についてはそのとおり。ただ、佐賀県の実情に合わせた提案を行うようになっている。

(委員) 昨年度は1者応札で今年度は3者応札があったが、何か取り組みを行ったのであれば教えてほしい。

(担当) 他局の契約実績等を確認し、声掛けを行うためにアンテナを張っていた。実際には、声掛け等を行う前に問い合わせがあった。

【審議番号2：佐賀公共職業安定所における高速フルカラー印刷機1台の交換購入】

(委員) 保守業務は契約にはいつているのか。

(担当) 保守は契約していない。

(委員) 高速カラープリンターを使用する用途は何か。

(担当) 主に求人情報誌の作成である。作成したものは、管内の公共施設等に配置している。

(委員) 紙媒体が必要な求職者もいることから、必要性については理解した。

(委員) 仕様によってはメーカーや製品が限定されてしまうため、印刷スピード等が真に必要なか今後も検討されたい。

【審議番号3：令和6年度コピー用紙等の購入（単価契約）】

(委員) 契約に配送も含まれているため、応札は佐賀県内の事業所になるのか。入札公告で地域を限定しているのか。

(担当) 地域は限定していない。配送があるため佐賀県内の事業所が応札する傾向にある。

【審議番号4：令和6年度第1回印刷物の作成（リサイクル対応型印刷物）】

委員から特段の意見や質問はなし。

【審議番号5：令和5年度第5回備品・消耗品の購入】

(委員) 予定価格を定めるための準則はあるか。

(担当) 特にはないが、市場価格に応じて適正な価格となるよう積算することが求められる。

(委員) 予定価格を超えた額で契約はできるか。

(担当) 予定価格を超えた額では契約できない。

(委員) 今回は予定価格以下の応札がなく不落札になっているが、予定価格と応札額が乖離していたように思われる。予定価格については物価上昇も考慮しつつ業者にとって過度な負担とならないよう積算されたい。

【審議番号6：令和6年度佐賀労働局管下5施設で使用する電気の供給（単価契約）】

委員から特段の意見や質問はなし。

【審議番号7：令和6年度コニカミノルタ製複合機の保守業務委託（単価契約）】

(委員) 公募とはどういうものか。

(担当) 当案件については、長らく1者応札が続いているため、対応できる業者を広く募るため公募を行った。公募の結果、複数の応募があれば入札を実施することになるが、1者の応募であれば、価格交渉を行ったうえで随意契約を行う。

(委員) 複合機の保守については、機器の納入業者以外からの応募がない傾向にあるが、全国的に同様なのか。

(担当) 全国的にも同様の事例は多いと聞いている。

【審議番号8：令和6年度佐賀労働局管下8施設の日常清掃業務委託（武雄地区）】

(委員) 作業人数は指定しているのか。

(担当) 特に指定はしていない。

(委員) 見積額に人件費が適正に反映されるよう配慮しているか。

(担当) 配慮はしている。見積額が適正なものか確認に努めてまいりたい。